

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年3月10日時点)

➤ **ウクライナ軍が南部及び東部の露軍への反撃を継続**する一方、**露軍は東部における占領地拡大に向けた作戦**や各地の**民生インフラに対する攻撃を継続**している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: **死者5937人**(ショイグ国防相発言22年9月21日)
: **死者約15万6120人**、戦車3441両、装甲車両6736両(「ウ」国防省3月9日)
: **死傷者約18万人**(クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)
「ウ」軍: **死者最大約1万3千人**(ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)
: **死傷者推定10万人以上**(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)
「ウ」市民: **死者8173人以上、負傷者1万3620人以上**(OHCHR3月6日)

ヘッカー在欧米空軍司令官は、「ウ」に供与した**JDAM-ER**(無誘導爆弾に付加し、約70km先まで攻撃可能とする制御翼付き精密誘導装置)が**既に運用状態にある**旨発言(3月6日)

- ブワシュチャク・ポーランド国防相は、「ウ」への供与を表明した**レオパルト2A4戦車計14両を既に引渡した**旨発言(3月9日)
- シュロト「ポ」大統領府長官は、「ウ」へ**MiG-29戦闘機を少数供与できる**旨発言(3月9日)
- ナチ・スロバキア国防相代行は、「ポ」と協調し**自国のMiG-29戦闘機を「ウ」に供与する用意があり**、議会もしくは政府の承認が供与実現の条件である旨発言(3月9日)

「ウ」軍南部作戦コマンドは、**キンブルン砂嘴に展開する露軍の火炮、多連装ロケット及び弾薬集積所を破壊した**旨発表(3月5日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

- 露メディアは、「ウ」と国境を接する**ブリャンスク州リュベチャネ及びスシャヌイに「ウ」の破壊工作グループが侵入し**、民間人を人質に取ったと報道(3月2日)
- 「ウ」国防省情報総局は、上記記事への「ウ」の関与を否定(3月2日)

露軍は、「ウ」各地に対し**ミサイル95発及びUAV8機による攻撃**を実施。「ウ」軍は、**ミサイル34発及びUAV4機を撃墜**(3月9日)

- 露民間軍事会社「ワグネル」は、ドネツク州**バフムートの東部を露側が奪取した**旨主張(3月8日)
- ゼレンスキー大統領は、**バフムート及びドンバス全域を巡る戦いが最優先課題**である旨発言(3月8日)
- ストルテンベルクNATO事務総長は、**バフムートが近く陥落する可能性がある**との見方に言及(3月9日)

フェドロフ・メリトポリ市長(ウ側)は、同市北部の**露軍基地2か所**で「ウ」軍の攻撃による**とみられる爆発が発生した**旨発言(3月5日)

「ウ」原子力発電公社は、**露軍の攻撃により9日未明、ザポリヅヤ原発への外部からの電源供給が遮断**された旨及び**原子炉の冷却を維持するための非常用電源の燃料は10日分のみ**である旨発表(3月9日)

